

学校番号	学校名	校長名
6	川崎市立田島中学校	元木 亮二

学校教育目標	今年度の重点目標	
(1)豊かな人間性を養う (2)自主・協力の態度を養う (3)創造性を養う (4)健康な心身を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員として自立して生きる力を育てる。 (1)基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、道徳教育の充実を図り、心の教育を推進する。 (2)基礎基本の定着を図るとともに、生徒が主体的に学習に取り組む態度を身につけさせ、確かな学力の育成を図る。 (3)健康的に生活できる力や安全に生活する力を育成する。 (4)学校・家庭・地域と連携を図り、学校評価を生かした開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員として自立して生きる力を育てる。 (1)基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、道徳教育の充実を図り、心の教育を推進する。 (2)基礎基本の定着を図るとともに、生徒が主体的に学習に取り組む態度を身につけさせ、確かな学力の育成を図る。 (3)健康的に生活できる力や安全に生活する力を育成する。 (4)学校・家庭・地域と連携を図り、学校評価を生かした開かれた学校づくりを推進する。

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 豊かな心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、身だしなみ、時間管理や清掃活動の徹底 ・特別活動等を通して達成感を体験させ自尊感情の高揚を図る ・生徒の主体的な活動の充実 ・「特別の教科」道徳の時間を要とした命と向き合い豊かで強い心を育てる授業の実践 ・教育相談週間や日頃の相談活動の充実とともにいじめ等の早期発見・対応 ・いじめを許さない雰囲気づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や服装等、基本的な生活習慣を確立させるため教職員で共通理解を図り、挨拶運動の指導に努めた。 ・コロナ以前のように、生徒が達成感や有用感を味わい思いやりや協調性や主体性を育むような学校学年の行事づくりに取り組み自尊感情を高める工夫をした。 ・道徳教育を全校体制で計画的に実施し、命の大切さや命と向き合う強い心を育む教育を推進した。 ・教育相談研修を行い、生徒アンケートに基づいた教育相談を実施し、日頃からいじめや暴力行為は絶対に許されないと意識を高める指導に努め、生徒の身近にいる私たち教員こそが、彼らの心の悲鳴を鋭く感知するよう努めた。また、子どもたちの悩みにおいても早期に対応し、関係諸機関との連携もスムーズに行えた。 ・生徒一人一人を尊重し、生徒の気持ちを理解して、丁寧な対応に努めた。また、教員間や学校と家庭との連絡、連携を密にするよう心掛け、生徒一人ひとりの理解に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内で統一した歩調で基本的な生活習慣の指導を進めていけるように方向性を年度当初から適宜確認しながら進めていく。 ・社会の情勢を勘案して、できる限り、生徒会を中心とした生徒が主体となった教育活動を企画、運営していく。(生徒集会、文化祭、学校のきまりなど) ・道徳教育の一環として「読み聞かせ」をはじめ、外部講師による講話や体験活動を通して「命を大切に授業」を展開し、豊かな心を育む教育をさらに推進する。 ・「共生・共育プログラム」を計画的に実施し、効果測定の結果を有効に活用していく。 ・いじめや暴力のない学校をめざし、アンケートをもとにした教育相談活動を充実させていくとも指導技術の研修も重ねていく。また、諸行事への取組を通して、個々の良さを認め合うことを通じていじめを許さない学校の風土づくりを構築する。

2	<p>確かな学力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かな指導を心がけ、分かる授業づくり ・学習環境の整備と授業規律の確立 ・学び合いが実感できる授業実践 ・各教科・各領域でキャリア教育の日常的な推進,実践(横断的な関わり) ・ICT機器の活用を図る ・学習内容の定着 ・家庭学習の習慣化 ・共生*共育プログラムの活用と効果測定の推進 ・学校・学年だよりの定期的な発行とHPの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容や評価評定に関しては、校内研修会を開き、これを機会に教員間で共通理解を図り、計画的な指導や評価を行うことができた。 ・今年度も、取り出し入り込みの時間を設け学習内容の定着や家庭学習の習慣化に努めた。また、放課後、数学、英語の基礎力をつけるために定期的に学習会を開いた。 ・令和3年度、かわさきGIGAスクール構想推進校として、生徒1人1台のパソコンを活用し、生徒の学習意欲向上と学力向上につながるよう研修を継続し、今年度も授業で使用する教材等の作成支援を図り、授業改善に取り組むことができた。 ・学習プリントやワークシートを工夫し、学主内容の定着を、めざす取り組みを実践した。今後も、より分かりやすい授業のために教員の授業力向上に努め、研修を重ねていきたい。また、習得だけで終わらず知識を活用する授業を実践していきたい。 ・キャリア在り方生き方教育に関して、現状把握と育てたい力を明確に示すことはでき、各教科,領域における横断的な指導計画を十分に示すことができた。また、キャリアノートにつなぐようにしていきたい。 ・学年だよりを定期的に発行し学年の様子や学年主任の運営方針やねらいを載せ保護者の理解に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のアンケート調査からは、生徒の生活面や教員の指導に関しておおむね良好の評価をいただいているが、生徒の学力の向上については、学習内容の定着や学力向上を求める声もあり、引き続き教員の授業力向上と授業改善のための研修に取り組んでいきたい。 ・話し合いや発表や文章を書く言語活動を積極的に取り入れ、生徒の「思考力,判断力,表現力」を育成していくとともに、生徒が学び合う授業を展開していきたい。また、1人1台環境を生徒の学力向上実現のきっかけとなることを引き続き目指したい。そして、1人1台の端末の活用と指導を通して様々な人・もの・ことをつなげ互いに共感し認め合い高め合える学校をめざしていきたい。 ・数学を中心に少人数教育を取り組んできたが他の教科でもこの取組を生かしていきたい。 ・キャリア在り方生き方教育を各教科の年間計画に位置付けるとともに、教科間のつながりを意識していきたい。 ・学習が円滑に進められる学習環境の整備と共に授業規律についても向上できるよう指導に努めていきたい。 ・学校だよりを定期的に発行し、学校の校外の掲示板に最新号を貼り、地域の方にも校内の様子を伝えることを継続していきたい。合わせて子供文化センターに学校だよりを掲示することも継続していきたい。
3	<p>健やかな心身の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した健康教育、安全教育の計画的な実施 ・給食に向け食育及び心身の健康保持増進に関する指導の充実 ・避難,防災,災害,図上訓練等を消防署や地域と連携し計画的に実施することを通し、防災危機管理意識の向上と主体的行動の確立 ・生徒活動等を通し校内環境の整備・美化の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルの指導のために、校内研修を開き、教員のスキルアップとともにその力を使って生徒への指導ができた。 ・今年度はコロナ以前の状況に戻し、学校保健委員会や健康診断後の情報交換を行った。 ・年間3回、火災や地震を想定した避難訓練を実施し、田島中避難所運営会議と共催した避難訓練(起震車体験、消火器訓練、簡易トイレの設置等)が実施できた。 ・生徒が安全で安心できる環境づくりに努め、校舎内だけでなく、校庭や体育館、武道場、プールの整備やそのまわりの美化にも取り組んできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育、安全教育に関しては、生徒の発達段階を踏まえながら、毎年同じ内容にならないよう工夫して実施し、生徒の健康に対する意識を高めていきたい。 ・今後は消防署とも連携し実際の災害を想定した防災訓練等を実施し生徒教職員の危機管理意識を高めていきたい。 ・給食の実施により、常に食に対する正しい知識を身につけさせ食の自己管理ができる人間を育てていきたい。 ・特別支援教育については適切な支援や指導の在り方について研修を重ねていきたい。

4	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域関係者が参加しやすい行事、授業参観の実施およびアンケート実施と集約 ・地域と相互連携・協力した取組 ・小中連携の取組の充実・発展(9ヶ年の学びの継続) ・支援教育の推進をめざし、交流や入り込み等、計画的な推進と実践 ・ユニバーサルデザインを意識した授業の工夫 ・学校公開日等を生かした学校評価の工夫と充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ以前の状態に戻した学校行事を推し進めてきた。引き続き、生徒の安全を第一に考え、感染予防対策をしっかり講じた上で行事を行ない、子どもたちが伸び伸びとした活気あふれる活動ができ、子どもたちの笑顔が戻ってきたのも、教職員の努力のおかげだと思っている。 ・特別支援学級は生徒の実態に基づいた創意工夫を凝らした教育活動を展開している。また、特別支援コーディネーターを中心として推進委員会を組織し、特別支援のニーズの把握に努めるとともに、全職員での共通理解を心掛けている。 ・ユニバーサルデザイン、インクルーシブ教育について今後も理解を深めていきたい。 ・今年度は学校公開日を行い、体育祭も保護者の制限もない地域・来賓の方も招待して実施した。 ・学校だよりや学年だよりを定期的に発行し各家庭だけでなく、こども文化センターや各町内会にも配布し、また、頻繁にホームページを更新し、新しい情報を含め広く広報活動を行うことができた。 ・民生委員との連絡会や、町内会、民生委員、保護司等の方々による校内巡回活動ができなかった。(人員不足、高齢化が原因) ・本校を支えてくださっているPTAOB会の方、近隣の町内会の方、そしてPTA役員の方との交流の場がコロナ以前の状態に戻った。引き続き、学校と地域の交流が盛んになるよう努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが終息し、保護者や地域の方々との交流の機会が増え、双方向の連携や内容の充実を図ることができてきた。また、保護者や地域の方々、学校に対して協力的で温かく見守っていただいていることに対する感謝の気持ちを職員がもち、地域の中に生きる一員として貢献できる活動が、更に展開できるようにしていきたい。 また、小中連携教育を推進し、小学校とともに9年間を見通した生活・学習指導等を考えていきたい。 体育祭や文化祭、合唱コンクールなどの学校行事は地域や保護者など人数制限がなく、多くの方々に参観していただいた。また、授業公開日を定期的に設定するなどし、多くの保護者が参観できるような工夫を今後も検討したい。 ・引き続き、地域と共に学校づくりに努めていきたい。そのためには、教員が地域行事に積極的に参加し、町内会や地域の方々とのつながりを大切にすることを育てたい。地域やPTAの方々には大変お世話になっており、生徒の状況も落ち着いている。次年度は、生徒と保護者や地域の方々により交流できる活動に取り組んでいきたい。
---	-----------	--	---	---

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>○令和6年2月16日に実施した令和6年第3回学校運営協議会(運営委員、代表生徒参加)で学校関係者評価を実施。</p> <p>(1)今年度の学校評価アンケート保護者版には質問への回答項目に「わからない」を追加。学校活動の質問への回答で「わからい」が多い。学校活動内容が保護者への理解が深まるような取り組みで改善してほしい。 【改善策】毎月学校だより・学年だより等の配布を実施し、学校の状況をお知らせしているが伝わっていない状況もある。配布時に配信メールで配布内容が保護者に伝わりやすい環境を整える。</p> <p>(2)地域行事への参加を増やし、地域との連携をさらに深めてほしい。 【改善策】町会祭りへの生徒の参加、保護者の巡回を中心に実施してきた。令和5年度は避難所運営会議と連携した防災訓練を実施できた。令和6年度は各町会などと調整しながら子どもたちと地域をつなげる役割を学校として果たしていきたい。</p> <p>(3)代表生徒の「もっとよくしたい」という気持ちを実現して欲しい。現状も以前に比べるとよくなっているが、さらに向上して欲しい。学校生活改善委員会を設置し校則の見直しなどを子ども達と先生方が話し合っているのは素晴らしいと思う。継続してほしい。 【改善策】学校生活改善委員会を子どもたちと教職員の互いの学校をより良くしたい「思い」を共有する場と考え高め合っていきたい。</p> <p>(4)学校評価アンケート生徒版から「先生方は生徒が授業に意欲をもって参加できるように工夫している」に対する「よくあてはまる」「あてはまる」の回答が令和4年度に比べて向上している。先生方の授業改善の取組が成果を発揮していると捉えて、授業改善を継続してほしい。 【改善策】学校全体での授業改善を行うことを共有し環境を整え、改善を継続していきます。</p>	<p>[まとめ]全体としては落ち着いた学校生活を送れているが、SNS上でのトラブルが後をたたない。学習に対してはGIGA端末の活用により前向きになった。今年度はコロナ以前の状態に戻し、学校行事は予定通り行うことができた。各行事においては、3年生を中心とした素晴らしい活動や発表ができています。体育祭においては、保護者の参観の制限もなくし、地域、来賓の方もお招きし、学校全体の活気が戻ってきました。また、教育相談や定期的なアンケートで悩みのある生徒を見逃さない体制を図り、早期対応に取り組み関係諸機関との連携がスムーズに行なえた。</p> <p>[次年度へ向けて]今年度は、PTAやPTAOB会、地域の方々や関係機関のご協力により、巡回活動やたじまフェスタ、情報交換会等がスムーズに実施することができた。今後も、地域の方やPTAの力をおかりして、多くの場面で学校や生徒を見守っていただければ、落ち着いた学校生活環境が継続できると思われる。また、継続的な課題である「教師の授業力向上」と「学習内容の定着」に関しては、引き続きICT機器の活用や教材の工夫を図っていきたい。小中連携教育に関しては、これまでの活動を振り返り9年間を見通した生活・学習指導の在り方やこれまで以上の情報共有に努めていきたい。そして、校外の人材や、保護者や地域との連携をより一層深めるとともに、開かれた学校づくりに向けた取り組みを実践していきたい。</p>